



昭和47年
7月号

発行所 東郷町役場
編集人

血液は生命の泉

愛の血液助けあい運動

人間の命が母体に宿ってからこの世に生まれて一生を終るまで、一秒たりとも休みなく活動を続けわたしたちの命を保ってくれるのは血液です。血液は生命の泉です。この貴重な血液は、一時に多量を失えば生命の営みは止まってしまいます。ですから大ケガや大手術の際にはどうしてもこの失なわれた血液を補ってやらなければなりません。これが輸血です。

輸血の方法には、血を提供する人が直接病院に行つて患者に輸血する「枕もと輸血」という方法とあらかじめ健康な人から献血してもらい、低温で保存（これを「保存血液」という）しておいて、いざという時に輸血する方法とがあります。

献血は本来、相互扶助の精神に立脚していますので、献血された

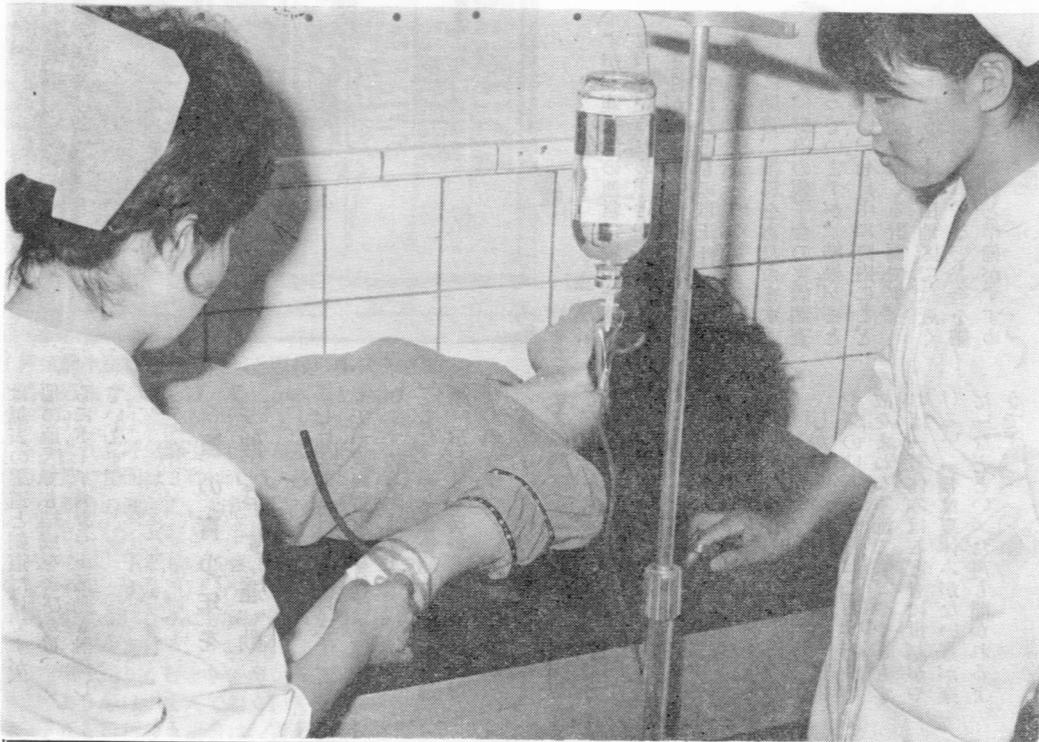
人がケガや手術などで自分あるいは家族に輸血が必要になった時は優先的に良質の血液をもらいう権利が与えられます。

交通戦争といわれる現代、いつ輸血を必要とするかわからないわしたちにとつて、人を助けることは自分を守ることもあるので

ことしも「愛の血液助け合い運動」が七月一日から三十一日まで全国いっせいに行なわれます。

町の献血推進協議会では、今月中に血液センターの採血車に來町してもらい採血する計画です。期日は、この日に坪谷の心臓手術をする男の人の輸血に必要な血液を採血するため未定です。決まりしだいお知らせしますのでみなさん

のご協力をおねがひします。



あなたをまもる愛の献血

第三日曜日（十八日）は家庭の日

○……………としておくと便利です……………○

点滴



安全の日

じめじめとうつとおしい日が続いたツユもまもなく明け、わつとするような強い日射しが照りつけ、暑さも加わってくる夏もいよいよ本格的です。

▽七月は一日の「国民安全の日」から始まります。わたしたちの生活環境はいま災害や公害にとりかこまれています。そういうとずいぶん大げさなようですが、毎日思わぬ事故で亡くなる人の数は交通事故がトップで本町でも交通事故、ことに飲酒による事故が激増しています。

▽自動車は確かに便利で、その普及はわたしたちを豊かにしてくれました。しかし一つ誤ると凶器にもなるクルマです。ドライバーはもちろん周囲の人たちもルールをよく守ってください。これからは暑くなり過労や睡眠不足になりやすい時季です。疲れた時などはハンドルを握らないように、また握らせないようにみんなであつとめましょう。

畑なかの小径をゆく
つつかなしき天の
河かも 牧水

青少年をすこやかに

こども会をつくろう

7月中に育成会組織



は越表の柔道と剣道だけですが、他の地区でも結成をよびかけ、さらにボリースカウト活動も計画しています。

夏の青少年を伸ばす運動

七月二十一日から八月三十一日まで「夏の青少年を伸ばす運動」がすすめられます。

また、「社会を明るくする運動」が七月一日か三十一日まで行なわれます。

夏休みにはいることもたちはせまい教室から大自然にとび出して、若いエネルギーを躍動させて心身を鍛練する絶好の季節です。

また、家庭や社会の一員としてさまざまなことを経験する家庭教育、社会教育のまたとない機会であり、親が子を知り、子が親を知る「わが子を知る」期間でもあります。

しかしその反面、生活の不規則や気のゆるみからおこる非行や事故をまねく季節です。ややとすれば「夏休みは子どもに世話がかかる」「親は夏休みがない方が楽だ」などといった声も聞かれるようになります。

この夏休みの意義を認識し、その期間を有意義に活用することがたいせつです。夏休みの教育的意義をまとめてみると次のようになります。

1. 学校生活ではできない研究、趣味などにじゅうぶん取り組み個性、特性を伸ばすことができる。
2. 家庭人、社会人としての経験や理解をひろめ、自主、自律の生活態度をやしなうことができる。
3. 心身の休養と健康の増進をはかることができる。

なくそう非行や事故

このような考え方によって夏の青少年を伸ばす運動の推進目標が立てられています。

1. 心身を鍛練し、自主活動を伸ばそう。
 2. 規律ある生活をし、豊かな環境をつくらう。
 3. 地域から非行や事故をなくそう。
- とくに、非行や事故防止は、家庭はもちろん、地域社会の協力が重要です。「あの子どもこの子どもみんなの子」ことも中心に、家庭、社会、学校の協力体制を確立して子どもたちにとっても、父兄にとってもみりの多い夏休みにしたものです。

本町はこのたび、県の「少年教育研究市町村」の指定を受け、四十七年度と四十八年度の二カ年間、少年の健全育成をはかることになりました。

社会教育で少年とは、小学校および中学校に在学中の年齢層をいいます。同じ少年でも、小学生と中学生では発達段階に相当の開きがあるのでいちがいにはいえませんが、一般的にこのころの少年は親の保護をうけながら多くの時間を家庭で過ごしています。

また、学校に通学し学業を修めることも大事な日課で、しかも、近隣や地域社会などで友だちやおとなに接してより広い社会生活を体験します。

すなわち、家庭、学校、社会の三つの場で生活し、それぞれの場から重要な教育作用を受けつつ成長していくところに、この時期の少年の人間形成の特徴が見られます。

本来こどもは戸外で自由に遊ぶの中でルールをつくり、自分の知的、体力的な能力をどのように発揮したらよいかを学びとっていきます。また、遊びを通して連帯性、協調性、責任感、自覚性、創造性などを養い人間関係を学んでいきます。少年団体はこの遊びの仲間がしだいに拡大し、組織されたものです。

本町では、少年団体としてこども会を育成することになりました。現在、各部落に親子会がありま

すが、親子会の運営は親が主体となつてゐるため、とかくこどもの自主性が失なわれがちです。こども会ではこどもに自主性をもたせ、親は育成会をつくり、こどもたちに助言、指導にあたえます。

いま、町内の親子会の実態調査を行なつていますが、結果がまともなものでない、七月中に町内にこども会育成会をつくる計画です。

いっぽう、小野田地区では近く育成会が組織され、こども会を結成することと着々と準備がすすめられています。

このこども会は、それぞれの地域の特性を生かす必要がありますので、結成にさきだち担当職員が直接みなさんの地域にお伺いし、相談に応じます。スポーツ少年団

▼ 幼児 (1歳~7歳)

図のように幼児の両腕を握り、親指で圧をかける。動作は成人の場合と同じくツウで圧する



あとのワン・ツウで児童のときと同じ要領で胸かくを開く。

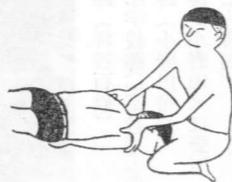


▼ 児童 (小・中学生)

圧のかけかたは成人の場合と同じくワン・ツウ・スリー、ワン・ツウの5動作で行なう。



あとのワン・ツウ (成人の場合の第4、第5姿勢) で図のように両手をかけて患者の胸かくを開く。



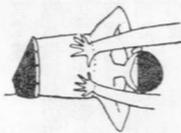
知っていますか? 人工呼吸法 尊い人命が救える

人工呼吸は、水におぼれたり、ガス中毒、胸部の圧迫やけが、電気による衝撃などによって呼吸が止まった人に対して、人工的に空気を肺に送り、呼吸を回復させる方法です。

○人工呼吸の仕方 (ニールセン式人工呼吸法) 患者をうつぶせにして、両手を

重ねさせ、その上にアゴをのせ、救助する人は片ひざをついて患者の頭の方から患者に向かつて正対し、別図の要領でワン・ツウ・スリー・ワン・ツウの動作を一分間に十回から十二回 (幼児の場合は十五回、児童の場合は十四回) の速さで行ないます。

成人に対して行なう要領



わき下をむすんだ線にこのように両手をおく。



まず患者の背中に両手をおく。



スリー (第3姿勢) の動作 自分の体をうしろにもどしながらおさえた両手をはなす。



ワン (第4姿勢) の動作 患者の両ひじの付近に両手をかける。



ツウ (第5姿勢) の動作 体ごと後方に引き患者の胸かくを開く。



ツウ (第2姿勢) の動作 腰をあげて腕が垂直になるところでとめる。

◎ 呼吸蘇生法



呼吸蘇生法は口から口へと直接に空気を送り込む方法で、いちばん効果があるといわれています。(小学生以下の子どもにはニールセン式よりも呼吸蘇生法の方が効果的あります)

- 最初の10回は3秒に1回、後は5秒に1回の割合の速さで、口から口へ直接に空気を送りこむ。(おとなも子どもも同じ速さでよいが、子どもの場合、後の5秒に1回をやや早くする。)
- 図のように、あごが頭の上にくるように十分ノドをあける。
- 空気を送りこむとき、鼻から空気がぬけないよう鼻はつまんでおく。
- 子どもに行なう場合は、胃を手でおさえ、胃の中に空気が入らないようにする。
- 自分より体格のおとる人に行なう場合は、空気を多く送りこむと両者の肺臓を破裂させることがあるので、抵抗を感じたところで送りこむのをやめる。特に幼児に行なう場合は、肺臓が小さいためプツという程度のわずかの空気を送りこめばよい。
- 呼吸蘇生法は、ガス中毒や毒を飲んでる者、伝染病にかかっている者には行なうはいけません。

お知らせ



野外活動用貸テント

十歳未満で特別児童扶養手当の認定請求のできる人はこの機会にもれなく受診してください。
この日は、医師、心理判定員など専門家が判定、相談に応じます

障害者の相談

七月十八日午前十時より午後三時まで、町役場講堂で精神障害者と身体障害者に対する巡回相談が行なわれます。

身体障害者手帳の交付や各種補装具を希望する人、障害者が満二

日本脳炎の予防接種

| | (第1回) | (第2回) | (時 間) | (場 所) |
|-----|-------|-------|-------------|----------|
| 鶴野内 | 7月6日 | 7月13日 | 13.30~14.30 | 鶴野内保育所 |
| 迫野内 | 7月6日 | 7月13日 | 14.40~15.30 | 迫野内公民館 |
| 八重原 | 7月6日 | 7月13日 | 15.40~16.00 | 八重原 " |
| 福 瀬 | 7月7日 | 7月14日 | 14.00~15.00 | 福 瀬 " |
| 小野田 | 7月17日 | 7月24日 | 14.00~15.30 | 小野田 " |
| 坪 谷 | 7月18日 | 7月25日 | 14.00~15.00 | 坪谷 保育所 |
| 仲 深 | 7月18日 | 7月25日 | 15.30~16.00 | 仲深公民館 |
| 田 野 | 7月19日 | 7月26日 | 14.00~14.40 | 田 野 " |
| 羽 坂 | 7月19日 | 7月26日 | 15.00~15.30 | 羽 坂 " |
| 下渡川 | 7月19日 | 7月26日 | 14.00~14.30 | 下渡川 " |
| 越 表 | 7月19日 | 7月26日 | 15.00~15.30 | 越表へき地集会所 |
| 追 加 | 8月2日 | 8月9日 | 14.00~15.00 | 東郷病院 |

④ 寺迫は6月に実施済

注 意 予防接種には思いがけない事故がおこることがありますので、予防接種をうける際には必ず健康診断をうけてください。保護者はこどもの健康状態をくわしく医師に話してください。また、予防接種後は過激な運動、入浴飲酒などはさけるようにし、異常な症状があるときはすみやかに医師の診察をうけてください。

坪谷中・福瀬橋に簡易保険還元融資

みなさんの強いご要望にこたえて、郵政省では五月十五日から、簡易保険の保険金最高額を三百万円に引上げました。これを記念して、六月一日から七月三十一日までの二カ月間、特別増強運動を実施中です。

くわしくは、郵便局から伺いまして、ご説明しますのでよろしくご協力ください。

なお、みなさんからお預りした保険料は、積立金の運用として、国や県、市町村に還元融資されています。東郷町では次のように還元されお役に立っています。

- (昭和四十六年度)
- 坪谷中学校建設 一千八十万円
- 福瀬橋建設 七百万円
- (山陰郵便局)

登記の相談お気軽に

宮崎地方法務局東郷出張所 日ごろ登記のこといろいろな考え悩んでいることはありませんか。また、いつもは余り考えなかった登記でも、県道や町道にかかり自分の土地を登記しなければならぬとか、遺産相続、境界のことなどなどなまのいちは経験があると思いませんか。

そんな時はいつでも遠慮なく、お気軽に登記所にお申し出ください。みなさんといっしょに勉強したい方法をみつけ整理したいと思

今月の納税等

| | |
|--------|--------|
| 固定資産税 | 二期 |
| 納期 | 七月三十一日 |
| 水稲共済掛金 | 一期 |
| 納期 | 七月三十日 |

います。

登記所はやつかいなところだという考えをすて、登記のことで子孫にまで気まずい思いをさせないように財産の保護に努めてください。おいでをお待ちしています。

香典返し

◎寺迫区の黒木万好さんから故考輝さんの忌明けに◎寺迫区の黒木ワキさんから故為次郎さんの忌明けに◎羽坂区寺原正子さんから故弘さんの忌明けに香典返しとして、町社会福祉協議会にそれぞれご寄付いただきました。
ここに慎んで故人の冥福をお祈りしますとともに、厚くお礼を申し上げます。

東郷町社会福祉協議会

| | |
|-----|--------------|
| 人 口 | 7年6月1日現在 |
| | ()は対前月比 |
| 男 | 3,392人 (+9) |
| 女 | 3,674人 (+13) |
| 総 数 | 7,066人 (-94) |
| 世帯数 | 1,765世帯 (+1) |

戸籍たより

(五月届出分)

出生 おめでとう

| | | |
|--------|------|------|
| 赤ちゃんの名 | 父の名 | 部落 |
| 黒木朱美 | 黒木正一 | 黒木正人 |
| 黒木満寿美 | 黒木正一 | 黒木正人 |
| 寺迫 | 寺迫 | 寺迫 |
| 橋野 | 橋野 | 橋野 |
| 吉野 | 吉野 | 吉野 |
| 直野 | 直野 | 直野 |
| 山須 | 山須 | 山須 |
| 那須 | 那須 | 那須 |

結婚 おめでとう

| | |
|------|------|
| 氏 名 | 部落 |
| 黒木陽子 | 黒木陽子 |
| 橋野美子 | 橋野美子 |
| 赤木美子 | 赤木美子 |
| 黒木金保 | 黒木金保 |
| 黒木幸子 | 黒木幸子 |
| 林野誠育 | 林野誠育 |

死亡 ご冥福を祈ります

| | | |
|-------|----|-----|
| 氏 名 | 年令 | 部落 |
| 長渡虎市 | 六七 | 福瀬 |
| 佐藤ハヤ | 六一 | 迫野内 |
| 黒木為次郎 | 七八 | 寺迫 |
| 田中伊三吉 | 七六 | 鶴野内 |
| 橋口弥一郎 | 八〇 | 越表 |